

# 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

## 平成 30 年度 事業報告書

### 公 1：景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

## 1 各種情報の収集、発信及び啓発

### (1) 広報活動事業

#### ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙ニュースレター「京まち工房」を発行した。平成 30 年度から表紙に京都を題材にした漫画を数多く手がけているグレゴリ青山さんが、漫画「京都人の京都知らず」にて京町家やまちづくりの知られざる一面を描き、賛助会員及び関係団体、大学、区役所等に配架し、広く市民のまちづくりに対する意識を普及・啓発した。

- ・発行回数：年 4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）
- ・発行部数：各号 4,500 部
- ・配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等

号数	発行日	概要
第 83 号	H30. 6. 20	(特集) 京町家まちづくりファンドまつり 「京町家・空き家相談会」 他
第 84 号	H30. 9. 20	(特集) 路地とまち展 「京町家継承の道のり」 他
第 85 号	H30. 12. 20	(特集) 嵐山まちづくり協議会、京都市に認定 「オモテノマをにぎわいの空間、交流するための町家へ」 他
第 86 号	H31. 3. 20	(特集) ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞の最優秀賞受賞 「織屋建探訪」 他

#### イ 財団ホームページ等

平成 28 年 3 月に新規開設した財団ホームページを活用し、当財団の取組や景観・まちづくりに関する最新情報を発信した。また、財団公式フェイスブックページでは、イベント情報や当財団の活動状況等を積極的に発信することで情報力強化に努めた。

- ・財団独自ホームページアクセス件数 64,439 件（平成 29 年度末実績 73,951 件）
- ・ひと・まち交流館内・センター（施設）ホームページアクセス件数 239,132 件（平成 29 年度末実績 241,674 件）
- ・メールマガジンの配信 34 回（平成 29 年度末実績 39 回）
- ・メールマガジン購読者数 1,788 人（平成 29 年度末実績 1,757 人）
- ・公式フェイスブックページ投稿数 59 件（平成 29 年度末実績 37 件）

## ウ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

### (7) 冊子等の販売

- |                                  |                        |
|----------------------------------|------------------------|
| ① なるほど！「京町家の改修」                  | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ② 京町家の再生                         | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ③ 京町家物語                          | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy)        |
| ⑤ 町家型共同住宅設計ガイドブック                | (京都市)                  |
| ⑥ 大学的京都ガイド                       | (株式会社昭和堂)              |
| ⑦ 京都・岡崎年代史                       | (京都岡崎魅力づくり推進協議会)       |
- 他

### (4) 京町家キット等の販売

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 京町家等の組み立て式キット | (株式会社さんけい)             |
| 京町家ポストカード     | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |

## (2) 景観・まちづくり大学等

住民の主体的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が自らの居住する地域を理解し、魅力あふれる安心・安全なまちづくりを自らの役割として自覚し、地域ごとの具体的な課題解決に向けた取組を進める必要がある。

そのため、平成30年度は、引き続き、まちづくりの担い手育成を目指し、まちづくりに取り組むうえでの基礎的な知識等を習得する講座を実施するとともに、まちづくりに関心のある方がまちづくり活動を始める契機となるよう、地域課題解決に向けたより実践的な内容の講座も実施した。

京町家の保全・再生に向けては、「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」の施行に伴い予想されるニーズの増加に対応するため、京町家の所有者、居住者を主な対象とし、その他、居住や利活用を検討している方等にも参考となる、実践を重視したカリキュラムへの見直しを行い、京町家の継承等に係る基本的な課題解決を図った。

また、これまでで初めて、各講座をより多くの人に周知するための機会として、他団体との共催事業として実施する2つの講座とともに「オープンキャンパス」を開催した。

## ア 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を対象に、町家の暮らし、活用、継承への実践的知識を深めるため、京町家の維持管理、改修、活用、相続等について専門家による講義を行った。

※内容(全9回) 有料 1回500円(通年受講は2,000円)

開催日	講座名	講師(話し手)	出席者 (通年+ 単回)
H30. 4. 26	京町家を未来へつなぐ	松井氏(京町家情報センター代表) ※専門講座としても位置づけ	26 (12+14)

H30. 5. 22	納得！京町家改修の為の助成制度（※無料講座）	京都市各助成金担当	46 (12+34)
H30. 6. 16	疑問解決！大工さんに聞く京町家改修	田原利晃氏・狩野文博氏（京都府建築工業協同組合）	20 (0+20)
H30. 8. 2	プロのノウハウ 京町家改修の資金調達から活用まで	吉田 光一 氏・ 林 茂 氏（京町家居住支援者会議）	25 (6+19)
H30. 9. 29	相談事例にみる相続解決方法	相続相談センター手配の講師陣	15 (4+11)
H30. 11. 8	安心して町家で過ごすために～ 町家の耐震・防災～	光田 彰 氏（京都府建築工業協同組合）	22 (8+14)
H30. 12. 4	これでスッキリ！ 町家の片付けの為の手順とコスト	谷口 摩雄 氏（ファイナンシャルプランナー・お片付けアドバイザー）	18 (2+16)
H31. 2. 5	ここまで出来る 京町家の価値と快適性を高める 改修設計	内田 康博 氏（京町家作事組 理事）	25 (5+22)
H31. 3. 5	今すぐ出来る 日々の町家のお手入れ方法	風月 匠幹廣 氏（認定NPO法人 古材文化の会）	22 (6+16)
合 計			221

## イ 京のまちづくり史連続講座

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、京都の景観形成とまちづくりの歴史を学び、京都の景観形成に資するまちづくりに対する理解を深めた。

市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考えた。

※内容（全9回）有料 1回1,000円（通年受講は5,000円）

開催日	講座名	講 師	出席者 (通年+ 単回)
H30. 5. 25	京のまちづくり史：古代から近世	高橋康夫氏（京都大学名誉教授）	27 (13+14)
H30. 6. 22	京都の近代：歴史観光都市の誕生	中川理氏（京都工芸繊維大学教授）	21 (10+11)
H30. 7. 27	町式目と町人のまちづくり	丸山俊明氏（びわこ学院大学短期 大学部教授）	19 (6+13)
H30. 8. 24	番組小学校と学区制度の成立	和崎光太郎氏（京都市学校歴史博 物館学芸員）	32 (9+23)
H30. 9. 21	伝統産業によるまちの形成と現代	滋野浩毅氏（京都産業大学教授）	12 (8+4)
H30. 10. 26	祇園祭と景観、コミュニティの変転	谷直樹氏（大阪市立大学名誉教授）	14 (9+5)
H30. 11. 30	路地の暮らしの文化を引き継ぐ	森重幸子氏（武庫川女子大学講師）	23 (8+15)
H31. 1. 29	京町家・その特徴と町並みを彩る多様性	大場修氏（京都府立大学大学院教	31

		授)	(9+22)
H31. 2. 22	地域自治の発展と現代の展開	田中志敬氏（福井大学講師）	18 (9+9)
		合計	197

## ウ 地域まちづくりセミナー

平成 29 年度に京都市において作成された「路地保全・再生デザインガイドブック」を、広く市民に周知し、市民が路地の魅力を再発見し、路地のある暮らしを考えることにより、住民が主体的に路地の保全・再生に関わることを目的として、「路地とまち展」を開催した。

開催日	名称	実施内容	参加者
H30. 6. 17 ～7. 7	ピックアップ図書展示 「路地の大特集！」	図書コーナー所蔵の冊子から、路地に関する本を特集した特設コーナーを設置	—
H30. 6. 23 ～7. 1	パネル展示「京の路地」	路地の写真や保全・再生の実例を紹介したパネルの展示	50
H30. 7. 1 (日)	「路地とまち」展 ～路地のある暮らしを考える～	・講演会『路地のある暮らし』 登壇者 寺島 彰氏、岩出勇二氏 聞き手 牧野杏里氏	82
		・路地のなんでも相談会	7 件
		・キッズコーナー路地を学ぼう！	—

## エ 各種団体等との協働セミナー等

景観・まちづくりに関わる、地域、市民団体、職能団体、NPO法人、学会、他都市の中間支援組織等との協働により、セミナー等を共催した。

### (ア) まちづくり講座オープンキャンパス【初開催】

当財団が主催・共催している「景観・まちづくり大学」「京都景観エリアマネジメント講座」「京都市文化財マネージャー育成講座」各講座の認知度を高め、集客の拡大を図るとともに、各講座が連携して受講者のスキルアップを図ることにより、様々な課題やテーマを抱える景観・まちづくり活動に、多様な視点から考え、実践へとつないでいくことのできる人材の育成につなげることを目的として開催した。

開催日	実施内容	参加者
H31. 3. 3 (日)	【午前の部】 ・講座担当者によるプレゼンテーション	50
	【午後の部】 ・特別講義「土地の記憶・まちの履歴～ブラタモリが通り過ぎた京都～」 講師 梅林秀行氏（京都高低差崖会崖長）	72
	・梅林氏と講座担当者とのトークセッション	

	・各講座常設ブース	—
--	-----------	---

#### (イ) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

##### ・基礎講座（全8回）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H30. 8. 4	基礎理論（1）	堀繁氏（東京大学大学院教授）	31
2	H30. 8. 25	基礎理論（2）	宗田好史氏（京都府立大学大学院教授）	19
3	H30. 9. 15	京都のまちの形成と景観史	高橋康夫氏（京都大学名誉教授） 中川理氏（京都工芸繊維大学教授）	22
4	H30. 10. 20	土木と景観デザイン	山田圭二郎氏（金沢工業大学准教授） 篠原修氏（東京大学名誉教授、GS デザイン会議代表）	14
5	H30. 11. 27	京の文化	矢ヶ崎善太郎氏（京都工芸繊維大学大学院准教授） 谷晃氏（野村美術館館長） 笹岡隆甫氏（華道「未生流笹岡」家元）	21
6	H30. 12. 15	景観政策と法律	岡田圭司氏（京都景観フォーラム） 飯田昭氏（弁護士） 石田光廣氏（司法書士）	18
7	H31. 1. 19	建築とランドスケープ	佐々木葉二氏（京都造形芸術大学教授） 江川直樹氏（関西大学教授）	19
8	H31. 2. 16	景観まちづくり・修了式	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	17

##### ・実践講座（全7回※講座形式）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H30. 6. 23	オリエンテーション		7
		色彩と景観調和について	渡辺安人氏（アーキタイプ工房）	7
2	H30. 8. 5	景観を理解する	堀繁氏（東京大学大学院教授）	8
3	H30. 7. 28	「地域景観づくり協議会の立ち上げと運営」	森川宏剛氏（京都景観フォーラム）	7
4	H30. 9. 15	対話型ファシリテーター講座	和田信明氏（NPO法人ムラノミライ）	8
	H30. 9. 29	フォローアップ講座		8
5	H30. 10. 13	景観まちづくりの現場から	門内輝行氏（京都大学名誉教授）	8

6	H30. 11. 10	発表会・ワークショップ	8
7	H31. 2. 16	個人レポート発表会・修了式	8

(ウ) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを实践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー上級講座」を開催した。

なお、講座修了者のうち古材文化の会から推薦のあった者について、京町家カルテの文化レポート作成を依頼する等、専門家の育成を図った。

・ 育成講座（第10期）

回	開催日	内 容	講 師
平成 29 年度開催			
1	H30. 1. 13	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	永井規男（NPO 法人古材文化の会） 関岡孝繕（京都市）
2	H30. 1. 27	民家建築	中川等（大阪産業大学）
		寺社建築	菅澤茂（工学院大学）
		京都の文化財	石川祐一（京都市）
3	H30. 2. 10	住宅建築	日向進（NPO 法人古材文化の会）
		歴史的建造物の継承と暮らし	秦めぐみ（秦家住宅）
		見学	秦家住宅、杉本家住宅
4	H30. 2. 24	文化財保護法	武内正和（文化庁）
		歴史的建造物の技法／瓦葺	寺本光男（瓦葺職）
		歴史的建造物の技法／左官	浅原雄三（左官職）
		指物の技法	大谷普賢（伝統工芸士）
5	H30. 3. 10	演習 1 指定文化財修理の現場見学	京都府
6	H30. 3. 24	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵（弁護士）
		保存・活用のマネジメント	宗田好史氏（京都府立大学）
		歴史的建造物の再生理念	藤岡龍介（建築家）
平成 30 年度開催			
7	H30. 4. 7	庭園の様式	仲隆裕（京都造形芸術大学）
		近代洋風建築	石田潤一郎氏（京都工芸繊維大学）

		歴史的建造物の調査と評価	中川等 (大阪産業大学)
8	H30. 4. 28	演習 2 登録文化財調査	中村則正・永松尚・中井玲子・城市智幸 (建築家)・鞍元玉緒 (文マネ)・坂井清 (NPO 法人古材文化の会)
9	H30. 5. 12	歴史的建造物と耐震補強	井上年和 (京都美術工芸大学)
		保存・活用と再生設計/構造設計	井手晃二 (構造設計家)
		保存・活用と再生設計/意匠設計	木下龍一 (建築家)
		演習 2 の中間報告 修了課題の中間報告	
10	H30. 5. 26	歴史的環境の整備	山崎正史 (立命館大学)
		保存・活用とまちづくり/修徳学区	西田教子 (建築家・文マネ)
		保存・活用とまちづくり/西舞鶴	大滝雄介 (建築家・文マネ)
		演習 2 の講評 演習 3 の説明 修了課題の中間報告	
11	H30. 6. 9	演習 3 保存・活用相談	NPO 法人古材文化の会の建築家・文マネ
12	H30. 6. 23	建築基準法・景観法	京都市
		演習 3 の講評 修了課題の中間報告	
13	H30. 7. 7	歴史的建造物と防災対策	益田兼房 (国際記念物遺跡会議文化遺産防災国際学術委員会)
		歴史的建造物の継承と税金	辻本尚子 (税理士)
		修了課題中間発表会	
14	H30. 7. 28	修了課題発表会 講座修了式	

・文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座

開催日	名称	実施内容	参加者
H31. 2. 10	第 3 回スキルアップ講座 『京町家の魅力を伝える』	「京町家カルテ」を題材に、レポート作成技術の取得とスキルアップを図るための講義及び京町家の見学  講師 大場 修氏 (京町家カルテ委員) 栗山裕子氏 (京町家カルテ委員) 当財団京町家カルテ担当	7

## 2 市民等の活動に対する総合的支援

### (1) 地域活動支援

平成 30 年度は、京都市と連携し防災まちづくりに取り組む地域を重点的に支援するとともに、地域の魅力向上や課題解決に向けて、景観づくりやまちのルールづくりに取り組む地域の支援も継続し、魅力あふれる安心・安全な地域づくりを進めた。

#### ア 景観・まちづくり相談

当財団職員が、自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容の更なる充実につなげた。

相談・支援件数 340 件（平成 29 年度 423 件）

##### 【相談・支援内容の分類】

相談・支援内容	30 年度件数	29 年度件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	313	379
マンション問題	0	14
当財団事業概要（まちづくり活動支援事業等）	7	14
景観・まちづくりに関するルール（式目、地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定等）	91	96
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	52	41
防災まちづくり	172	224
まちづくりコーディネート事業	299	362
その他（地域課題、講座、学生対応、視察等）	104	81
合計	1,038	1,211

#### イ まちづくり専門家派遣

課題に応じて、まちづくりの専門家を地域に派遣し、地域活動を支援した。

※京都市からの委託事業における専門家派遣は別途記載

地区	支援内容
北区 柏野学区	災害時における安全な防災軸の形成に向けた道路の市道化と拡幅整備の取組のため、他都市等で沿道住民の合意形成を経て道路拡幅に至った事例の勉強会に専門家を派遣した。

上京区 聚楽学区	平成30年度防災まちづくり事業の一環として開催される『第2回耐震ローラー作戦』と同日に、災害に対する家の備えを強化し災害に強いまちづくりに繋げるため、木造家屋に関する相談会およびミニ講座『家にまつわる相談会 in 聚楽校』を実施した。
東山区 弥栄学区 祇園東地域	地域における石畳舗装化について、先進地域の取組事例を参考に検討を進めるため、地域の勉強会に先進地域の役員を派遣した。
左京区 高野東開・ 西開地区	高野赤れんがまちづくり協議会の地区計画策定支援（平成29年度～） 今年度も引き続き、地区計画の策定を目指した取組に対して専門家を派遣する等の支援を行った。
左京区 大原学区	平成13年に策定された「京都大原里づくりプラン」は、平成25年に改訂を行った際に都市計画マスタープランの地域まちづくり構想に位置付けられたが、改訂から5年が経過し、大原を取り巻く環境は大きく変化したため、再改訂を行うこととなり、専門家派遣によって取組を支援した。
西京区 桂坂学区	桂坂景観まちづくり協議会の活動支援 地域住民等への景観まちづくり活動への意識啓発を目指した冊子の作成にあたり、編集作業等に関する専門的アドバイス及びそれに伴う検討資料作成等のため、専門家を派遣し支援を行った。
南区 久世学区 大藪町	大藪町は桂川に近く、近年の想定を超える浸水被害の多発を受け、水害への関心が高まっており、自主防災部を中心とした避難体制を再構築し、早急に取り組むべき課題の洗い出しを行うため、専門家派遣を行った。

## ウ まちづくり活動助成

まちづくり活動に継続的に取り組む地域に対して、運営活動費（活動広報物の作成や地域での勉強会の開催等）を助成した。

地区	支援内容
高野赤れんがまちづくり協議会	「高野東開・西開地区まちづくりビジョン(素案)」及び「意見依頼文」「アンケート用紙」等印刷
祇園新橋景観づくり協議会	地域景観づくり計画書の印刷及び頒布費
菊浜まちづくり推進委員会	「菊浜防災まちづくりマップ」印刷

## エ 景観づくり支援（京都市受託事業）

地域の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを一層推進するため、京都市が実施する地域景観づくり協議会制度の普及啓発を図るとともに、各地域への専門家の派遣等、制度の活用及び地域活動の充実に向けた支援を行った。

### (7) 「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の活動支援

京都市に認定された協議会で構成される「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の定例会議を企画・運営し、各地域間の情報及び課題の共有と、本制度運用のあり方等の協議を行った。

【京都市地域景観まちづくりネットワーク】構成団体（計 11 地区） ※平成 30 年 7 月より嵐山まちづくり協議会が新規加入	
(中京区)	先斗町まちづくり協議会、姉小路界限まちづくり協議会、明倫自治連合会
(下京区)	修徳景観づくり協議会
(東山区)	西之町まちづくり協議会、一念坂・二寧坂 古都に燃える会 祇園新橋まちづくり協議会
(右京区)	仁和寺門前まちづくり協議会、京の三条まちづくり協議会、嵐山まちづくり協議会
(西京区)	桂坂景観づくり協議会

### (4) 各協議会及び今後制度活用を検討する地域への専門家派遣等の支援

各協議会が実施する意見交換会等の活動や、今後協議会制度の活用尾を検討する地域の活動に対して、現状にあった支援（専門家派遣等）を行った。

地区	状況	支援内容
東山区 清水学区 一念坂・二寧坂	協議会 設立済	「一念坂・二年坂 古都に燃える会」への活動支援 ・30年度は、地域内周知用の屋外広告物の仕様・デザイン検討のため、専門家を派遣した。
西京区 桂坂学区	計画書策 定済	「桂坂景観まちづくり協議会」への活動支援 ・30年度は、地域住民への景観まちづくり活動への意識啓発を目指した「桂坂あそべるしぜん図鑑」作成にあたり、図鑑の編集作業等に助言を行うため、専門家を派遣した。
東山区 弥栄学区 元吉町	協議会 設立済 計画書策 定	「祇園新橋景観づくり協議会」への活動支援 ・30年度は、景観づくり計画書作成のための意見交換及び勉強会の実施、関係者間の合意形成支援の他、祇園新橋地域の暮らしや町並みを守る活動の支援のため、専門家を派遣した。
右京区 嵯峨学区 嵐山本町地区	協議会 設立済	「嵐山まちづくり協議会」への活動支援 ・30年度は、地域景観づくり計画書の策定に向けた支援を行うため、専門家を派遣した。

### (5) 景観づくり講座「京都景観ゼミナール」の開催

	日時	テーマ・内容	講師・ゲスト	出席者
1	10/12（金） 19～21時	【景観づくりの第一歩】 ・講座の目指す所を共有する	（京都市景観政策課）	10

		・景観づくり活動の多様性を知る		
2	10/27 (土) 10～15 時	【景観まちづくりの現場探索！】 景観を成り立たせている背景を意識しながらまちを歩く。 ・御池、姉小路、三条の並行する通り景観を比較する。		12
3	11/2 (金) 19～21 時	【実践者のお話と市の政策を知ろう！】 ・景観まちづくりの実際を知る。 ・京都市の景観政策の概要、方向性を知る。 ★宿題：私のまちの景観写真	谷口親平氏（姉小路界限まちづくり協議会） 杉崎和久氏（法政大学）	12
4	11/16 (金) 19～21 時	【私のまちの景観は？】 ・景観まちづくりに取り組む際に活用できるツールを理解する。 ・写真を比較し、まちの景観の多様性を考える。 ★宿題：私のまちの景観をよくするためにできること（20以上）	（京都市景観政策課）	11
5	11/28(水) 19～21 時	【どうする？私のまちの景観】 ・自身が景観まちづくりに取り組む際のポイント、プロセスを整理する ・谷氏の話から、まちづくりを進める際の心得を知る。 ★宿題：プレゼン準備	ゲスト 谷亮治氏（まちアド）	11
6	12月14日 (金) 19～21 時	【広がる、広げる景観まちづくり】 ・自分のまちの景観まちづくりを進める発表をする。 ・サポート体制を知る。 ・修了式	（京都市景観政策課、まちセン、京都景観フォーラム）	10
合計				66

## オ 地域の歴史的資産を生かした景観づくり支援（新規）（京都市受託事業）

京都の歴史的景観を保全していくため、地域の歴史的資産や特徴を生かした景観づくりの検討を行う地域に対して、専門家を派遣し、その活動を支援した。

地区	支援内容
上京区 小川通・上御霊前界限 【新規】	地域の歴史的資産等とその周辺環境も含めた景観を保全するためのまちづくりを推進するため、まず地域の価値を共有しようと、学識者を講師にまちあるきを行うなどして、界限周辺エリアの状況をカルテ（プロファイル）にまとめた。
北区 上賀茂界限 【新規】	来年度以降、地域課題の抽出及び望ましいまちのビジョン等を検討するため、地域のプロファイルの作成を行う他、地域住民へのアンケートの実施や他都市の伝建地区等の活動事例の収集を行った。

## カ 防災まちづくり専門家派遣（京都市受託事業）

密集市街地内において、「防災まちづくり」に取り組もうとする地域に専門家を派遣し、防

災まちづくり計画の策定や計画実現のための各種活動に対する支援を行った。

地区	状況	支援内容
中京区 教業学区 【新規】	計画策定 に向け取 組中	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 30年度は、地域の実態把握等のため、防災まちあるきを実施し、 防災マップを作成した。 (防災まちづくりの取組1年目)
東山区 今熊野学区 【新規】		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 30年度は、地域住民への啓発及び課題の共有、地域の実態把握 等のため、各町対象の防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組1年目)
下京区 菊浜学区		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 30年度は、さらなる地域住民への啓発及び課題の共有のため、 避難行動要支援者を想定しての防災まちあるきや防災リーダー 研修会を実施した。 (防災まちづくりの取組2年目)
下京区 有隣学区	30年度 計画策定	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 30年度は、防災訓練時の防災ワークショップの開催や、計画策 定のためのまちあるきの他、昨年度作成した防災マップをインテ ーネット上で閲覧できるシステムの活用にも取り組んだ。 (防災まちづくりの取組3年目)
北区 柏野学区※	計画 策定済	防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 30年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組4年目)
北区 紫野学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 30年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組5年目)
上京区 正親学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 30年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組4年目)
上京区 仁和学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 30年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組6年目)
上京区 翔鸞学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 30年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組5年目)
中京区 朱雀第一学 区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 30年度は、専門家を派遣し、防災ワークショップを開催した。 (防災まちづくりの取組5年目)
中京区 朱雀第二学 区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 30年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組6年目)
東山区 六原学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 30年度は、専門家を派遣し、防災ワークショップを開催した。 (防災まちづくりの取組7年目)
右京区 嵐山学区		活動終了

		の防災に対する意識啓発のため、防災まちあるきを行った。
--	--	-----------------------------

- ・【新規】は、平成 30 年度から新たに支援を行った地域を示す。
- ・※付の地区は、密集市街地内の「優先的に防災まちづくりを進める地区」を示す。

## (2) 京町家再生支援

### ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用について、京町家所有者・居住者多くが様々な悩みを抱えている。本事業は財団の京町家事業の総合窓口として、相談者に寄り添い、悩みに対して複合的な課題の整理や具体的な方策を示すことにより課題解決につなげた。

#### (ア) 一般相談 474 件（平成 29 年度実績 454 件）

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて専門相談や団体紹介を行った。

#### (イ) 専門相談 57 件 ※自主事業 33 件、受託事業 24 件（平成 29 年度実績 49 件）

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。平成 30 年 10 月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用業務」として実施し、新たに税理士や不動産鑑定士、弁護士等の専門家を追加し、これまでより幅広く、きめ細かな相談対応が可能となった。委託事業として実施した専門相談の件数は 24 件であり、通年では 57 件であった。

#### 【相談項目内訳】

平成 31 年 3 月 31 日時点

相談項目	合計件数
改修・修繕	189
活用	127
賃貸	34
売買	24
耐震、防火	9
相隣問題	33
相続、所有権関係	17
維持・管理	18
資金、公的な支援制度	82
京町家まちづくりファンド	46
京町家カルテ	31
京町家等継承ネット	43
その他（視察、協力依頼、情報提供など）	135
合計件数	788

※複数選択のため、相談件数の合計とは一致しない。

(参考) 京町家等継承ネット事業としても相談対応を行っている。

一般相談	20 件
専門相談	23 件
京町家・空き家相談会	8
京町家・空き家相談会後の往訪相談	1
大型町家継承モデルプロジェクト往訪相談	14

#### (ウ) 京町家専門相談員

京町家の保全・再生に向けて、支援専門家の育成が不可欠となっている。当財団では、学識・有識者のほか、京都府建築工業協同組合、京都府建築士会、京都府建築士事務所協会、京都府宅地建物取引業協会、認定特定非営利活動法人古材文化の会から推薦を受け、京町家専門相談員を登録した。京町家専門相談員登録者数 74 名（平成 30 年 4 月 1 日時点）

平成 30 年 10 月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用業務」として実施し、「京都市京町家相談員」と制度を新たにした。86 名の専門家が登録を行った。制度の運用に伴い、相談員研修として実施していた「京町家専門講座」は廃止し、京都市京町家相談員の登録研修、スキルアップ研修として実施することとした。京都市京町家相談員登録者数 86 名（平成 31 年 3 月 31 日時点）

## イ 京町家データベース

平成 20、21 年度京町家まちづくり調査によって調査した約 48,000 件の京町家等を元に I D 管理された物件を G I S（地理情報システム）上で地理的に管理する。

個々の京町家について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書の作成等の相談・対応履歴を入力し、年度毎、個々の京町家に一元的に管理する京町家データベースを運営する。

平成 30 年度は、京都市が平成 28 年度に実施した「現存する京町家に対する基礎調査結果データ」を反映して運営した。

## ウ 京町家等継承ネット

京町家等の適切な継承を促進することを目的として、平成 26 年 11 月 21 日、京町家継承ネット（代表 高田光雄 京都美術工芸大学教授、京都大学大名誉教授）が設立された。当財団は事務局として、京町家継承ネットを構成する京町家等の継承に関わる多くの団体、所有者や居住者とともに、京町家等の継承に取り組む。

平成 30 年度は京町家条例の施行と協調し、大型町家や景観重要建造物に値する京町家に対して積極的な相談の対応を行うとともに、継承・活用のニーズの把握等、継承ネットがその受け皿となった。特に大型町家の継承に対する具体的な支援策の充実が急務であり、継承ネットとしての支援システムの確立を目指した。また、会員との連携を強化する活動を行った。

(7) 運営に関する行事

開催日	内容	出席者
H30. 6. 22	京町家等継承ネット第5回全体会議 ・前年度決算、事業計画等の承認 ・活動報告	39
H30. 10. 2	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件、活用希望者の情報共有、活用に関する意見交換等	9
H30. 12. 4	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件、活用希望者の情報共有、活用に関する意見交換等	10

(4) 普及・啓発の取組

集中相談会

京町家・空き家の所有者や居住者を対象とした集中相談会を開催した。集中相談会の周知については、京都市と協力し、京町家まちづくり調査（平成20、21年度）のデータを元にポスティングによる配布を行った。所有者・居住者に直接、相談会や支援制度のご案内をすることができた。

a 京町家・空き家相談会の開催

開催日	会場	参加者
H31. 3. 9	くろちく天正館2階「天正の間」 (中京区百足屋町380)	専門相談8件、一般相談13件

b 相談内容等

- ・ 修繕・改修、活用の相談が大多数を占めた。
- ・ 活用、相続、資金、事業継承等、複合的な悩みを抱える相談も少なくない。
- ・ 景観重要建造物等への指定提案や大型町家の継承に関するプロジェクト化が想定される案件も含まれる。
- ・ 相談会後も引き続き、専門相談等でフォローアップを行っている。

c 参加専門相談員

(敬称略)

京町家相談員	宅地建物取引士	大前 温彦
		中積 一
		西村 孝平
		吉田 光一
	大工	小野 敏明
		田原 利晃
	建築士	末川 協
		杉本 考次
		伏木 道雄
	税理士	前岡 照紀
不動産鑑定士	宮田 真悟	
弁護士	玉村 匡	
行政書士	小西 康雄	
日本賃貸住宅管理協会京都府支部	宅地建物取引士	小川 雅敬

京都建築設計監理協会	建築士	松木 一恭
金融機関	京都銀行	綾野 晃 新井 宏弥
	京都信用金庫	水谷 英一 山下 明宏
	京都中央信用金庫	重野 利明 渡辺 一義
	行政機関	京都市都市計画局まち再生・創造推進室

### 講師派遣

平成 30 年度「京都を彩る建物や庭園」所有者交流会（京都市文化財保護課主催）にてセミナーと相談会が開催された。京町家等継承ネット事務局に企画協力依頼があり、講師と相談員を派遣した。

開催日	内容	出席者
H30. 11. 20	平成 30 年度「京都を彩る建物や庭園」所有者交流会 ・セミナー 京町家等継承ネットのコーディネートによる建物活用事例紹介を行った。 講師：山村純也氏（株式会社らくたび代表取締役社長） 西村孝平氏（京町家相談員、株式会社八清代表取締役） 吉田光一氏（京町家相談員、株式会社フラットエージェンシー代表取締役会長） ・相談会 所有者から継承や活用に関するご相談をお受けした。	70

### 特別レクチャー

都市住宅としての京町家の空間構成を中心に研究されているオランダの建築家を迎え、二国間の都市住宅の違いや、オランダでは歴史的建造物をどのように活かし都市の魅力を発信しているかを紹介した。

開催日	内容	出席者
H30. 11. 8	「京町家から発想する新たな都市居住」オランダから建築家を迎えて 講師：ビルギット・ユルゲンハーケ（Birgit Jürgenhak）氏 （デルフト工科大学准教授） 笠原一人氏（京都工芸繊維大学助教）	62

### (ウ) 支援システムの開発に係る取組

大型町家の相談案件については、随時整理と情報共有を行い、モデルプロジェクトの進め方を検討した。また、京町家のマッチングシステムのあり方やその内容について、会員団体とともに検討を行っている。

#### a 大型町家継承モデルプロジェクト

（相談対応案件 14 件）

京町家等継承ネットで受けた相談案件の大型町家について、継承・活用提案や公的指定のため往訪相談及び活用提案を行った。相談案件のうち、売買契約成立 3 件、賃貸借契約成立 1 件の成果があった。

- K 邸（上京区）：活用提案を行い賃貸活用に繋がった。
- D 邸（上京区）：活用提案後、所有者間で協議中。
- S 邸（上京区）：賃貸募集中。
- O 邸（東山区）：活用提案中。
- S 邸（下京区）：活用提案後、京町家として残す方に譲渡した。
- N 邸（下京区）：賃貸募集中。
- O 邸（上京区）：活用提案後、京町家として残す方に譲渡した。
- O 邸（北区）：活用提案中。建物価値を把握するため調査を実施した。
- H 邸（上京区）：京町家を残しつつ土地利用の相談があり、奥敷地を譲渡。  
購入先が新築京町家を建築し分譲住宅として販売。
- M 邸（山科区）：活用提案中。
- T 邸（西京区）：活用提案中。
- ※以下、活用等に至らなかった案件
- S 邸（下京区）：賃貸契約寸前で所有者の都合により活用されないこととなった。
- K 邸（中京区）：活用提案を行ったが一般事業者へ売却。
- K 邸（中京区）：活用提案を募ったが、売却希望金額が市場価格とかけ離れており提案不可能であった。

#### b 大型町家継承に向けた支援システムの開発

- ・継承・活用マッチングシステムとして「MATCHYA」の WEB、リーフレットを作成し、情報発信を行っている。多様な活用事例を提示し、活用希望者を募る予定である。
- ・継承・活用の手法や事例について情報を収集した。

#### c 京町家の新たな資金調達スキーム構築に関する検討

京町家等継承ネットの取組の一環として、平成 29 年度の資金調達スキーム構築に関する検討会の実績を活かし、一般社団法人京都府不動産コンサルティング協会と共同で京都市の「京町家再生ファンド構築に係る調査・研究業務」を受託した。（詳細は別記）

### 3 各種団体等との交流及び協働活動

#### ワールド・モニュメント財団（WMF）との連携

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

平成 30 年度は、第 3 期京町家再生プロジェクトとして四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。平成 30 年 7 月の祇園祭では広く市民に公開された。加えて、京町家再生プロジェクトとしてワールド・モニュメント財団から支援を受けた京町家の活用引き続き協力を行うとともに、本事業について、ホームページ等で国内外へ広く情報発信した。**平成 30 年 9 月、2018 年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞を四条町大船鉾会所の改修プロジェクトが受賞した。**

（参考）

京町家再生プロジェクト 第 1 期 釜座町町家（平成 23 年度）

第2期 旧村西家住宅（平成24年度）

第3期 四条町大船鉾会所（平成28～30年度）

〈第3期プロジェクト スケジュール〉

H30.5 2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞への申請

H30.9 2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞受賞

H31.1 2018年ベスト・イン・ヘリテイジ（国際会議、クロアチア）発表者に選定・招待

## 4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

### (1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京都の歴史及び文化の象徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄附金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と、町並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営する。

平成30年度は、京町家条例の施行を受けて京都市における公的助成の支援メニューが充実したため、京町家まちづくりファンドの位置づけや改修助成事業の今後の方針について検討を行った。これまでの実績を踏まえ、寄附者や京町家まちづくりファンド委員会の意向を伺い、平成31年度からは助成制度の対象等を改めることとし、ファンド委員会の構成についても再編を行う運びとなった。

#### ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

平成30年9月19日 第39回京町家まちづくりファンド委員会開催  
改修助成事業申請案件視察会開催

平成31年3月28日 第40回京町家まちづくりファンド委員会開催

#### イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

##### (ア) 事業報告会・京町家見学会の実施

寄附者や一般市民の皆様へ、ファンドの改修助成を受けた京町家の見学会や改修に関する解説を行った。

##### 「織屋建探訪」

日時 平成31年3月6日

会場 服部邸（H30年選定・改修工事中）

所在地：京都市上京区大宮通寺之内上る西入東千本町  
生駒邸（H23年選定）

所在地：京都市上京区大宮通寺之内下る西入新美濃部町  
北村善染工所（特別協力）

所在地：京都市上京区大宮通寺之内下る西入新美濃部町

参加者 85名

### (イ) 連携協定締結

一般財団法人日新電機グループ社会貢献基金、京都市、京都市景観・まちづくりセンターで、文化財の維持・保存・活用、京町家の保全・継承及びこれらのPRに関する事業についての連携協定を締結している。平成30年度は京町家の保全・継承に係る改修助成に対し、50万円の寄附をいただいた。

## (2) 京町家カルテ・京町家プロフィールの作成

京町家の価値への理解を深め、保全・継承に繋げるため、京町家の歴史や文化的な価値をまとめた「京町家カルテ」、内容はカルテより簡易であるが、発行までの所要時間が短く低料金である「京町家プロフィール」を発行した。

	平成30年度発行件数	平成29年度発行件数
京町家カルテ	30件	35件
京町家プロフィール	60件	65件

また、平成30年10月1日に京町家カルテの料金改定を行った。

	改訂後	改訂前
申請料	5,000円	5,000円
作成料	50,000円	30,000円
合計	55,000円	35,000円

## (3) 京町家に関する普及啓発業務(京町家カルテ簡易版の作成)(新規)(京都市受託事業)

所有者の京町家保全・継承に努める意識を醸成するため、京町家条例における個別指定京町家を対象として、新たに京町家カルテの簡易版を作成した。

	平成30年度発行件数	平成29年度発行件数
京町家カルテ簡易版	2件	—

## (4) 建物調査報告書作成業務(京都市受託事業)

保全・再生を目指す大型京町家等の所有者に対して、建物調査報告書作成の支援を行い、京都市の歴史的建造物関係各課と連携して、今後の保全や公的指定等に向けた取組を行った。

今年度は、京町家1件について、建物調査報告書を作成した。



北区

#### (5) 建造物指定に係る調査資料作成業務（京都市受託事業）（新規）

京町家条例における個別指定京町家のうち、景観重要建造物又は歴史的風致形成建造物等の指定候補となる京町家について、審議会に提出する諮問資料作成のための調査資料を作成した。

	作成件数
景観重要建造物候補	1
歴史的風致形成建造物候補	6
両方	3
合計	10

#### (6) 京町家再生ファンド構築に係る調査・研究業務（京都市受託事業）（新規）

京町家の保全・再生に関する事業を数多く実施してきた当財団と、不動産の活用・相談業務の豊富な経験を有する一般社団法人京都府不動産コンサルティング協会が一緒になり、コンソーシアムとして本事業に取り組み、当コンソーシアムより、京町家再生ファンド構築に係る調査・研究を実施した。

主たる調査・研究として、資金調達面で課題を抱える京町家への建物改修・管理を含めた総合的な対応スキーム案を作成するとともに、京都市内の民間事業者が対応可能か、市内金融機関・不動産事業者等へもヒアリングすることにより、事業実態に合ったスキーム構築が可能か検討した。

また、その場合における行政や公的機関の求められる役割を探るため、金融手法（クラウドファンディング等）を用いた資金調達を行っている先進事例を有する金融機関、投資会社、自治体関係団体等の事例調査を実施した。

#### (7) 京町家の文化教育プログラムの開発・実施業務（京都市受託事業）（新規）

次世代を担う子ども達や京町家に関わる事業者・専門家等が、京町家の持つ価値や京町家で培われた生活文化を理解し、多様な主体で京町家の価値を共有すること目的として、京町家の

価値や生活文化を学習することができる教育プログラムの開発・試行実施を行った。

## ア 京町家に関する基礎資料の調査・収集・作成

京町家に関する基本的な内容を資料化し、公開することで、市による教育活動だけでなく、事業者や民間団体、地域活動等で、資料や教育プログラムを活用した研修等を行うことを可能にし、様々な主体による京町家の普及啓発につなげるため、基礎資料を調査、収集、作成した。

(ア) 京町家の建築の特徴に関する説明資料、図面、写真、映像等

(イ) 京町家での住まい方に関する説明資料（行事の記録、季節によるしつらい、自然との共生、地域との関わり等）、写真、映像等

※ (ア)、(イ) を含む資料を「京町家のいろは」として作成した。

## イ 学校教育向け及び事業者向け教育プログラムの開発・試行実施

アで作成した基礎資料をもとに、学校教育向け教育プログラム及び事業者向け教育プログラムを試行実施した。また、既に京町家での文化教育活動を行っている団体や住教育の取組実績のある教育機関等へのヒアリングをもとに、教育プログラムの開発を試みた。

### (ア) 学校教育向け

#### ① いけばな教室

日時	平成 31 年 3 月 16 日 (土)
講師 (生け花指導)	井山万里子氏、青山康子氏、竹田恵子氏 (小原流京都支部)
場所	『百芳軒』井山邸 (中京区堺町通御池上る扇屋町 657)
参加者数	11 名 学年内訳： 小学校 3 年生 4 名 小学校 4 年生 2 名 小学校 5 年生 3 名 中学校 1 年生 1 名 中学校 2 年生 1 名
プログラム概要	京町家のオモテノマでのいけばな教室と京町家体験 (床の間しつらえ体験)

#### ② つづれ織体験

日時	平成 31 年 3 月 17 日 (日)
講師	森紗恵子氏 (つづれ織工房 おりこと主宰)
場所	つづれ織工房 おりこと (上京区寺之内通堀川西入東西町 377 番地)
参加者数	9 名 学年内訳： 小学校 3 年生 1 名 小学校 5 年生 4 名 中学校 1 年生 1 名 中学校 2 年生 1 名 未就学児 (特別参加) 2 名
プログラム概要	織屋建解説とつづれ織・糸巻き体験, お茶とお菓子提供

### (イ) 事業者向け

#### ① 京都中央信用金庫 (金融機関職員向けの京町家に関するセミナー)

日時	平成 31 年 2 月 9 日 (土)
講 師	関岡 孝繕 氏 (京都市都市計画局まち再生・創造推進室京町家保全継承課長) 梶山 真樹 ((公財)京都市景観・まちづくりセンター事務局次長)
場 所	京都中央信用金庫十条ビル五階 (南区東九条南石田町 3 8 - 2)
参加者数	79 名
プログラム概要	京都中央信用金庫職員を対象とした京町家継承に関するセミナー テーマ『京町家を未来へ』 ① 京町家の基礎知識、京町家継承の意義・取組、京都市の支援施策について ② 官民連携による京町家等継承ネットの取組

② 下京区介護保険事業者連絡会議 (福祉関連事業者向けの京町家の継承に関する説明)

日時	平成 31 年 3 月 18 日 (火)
講 師	公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
場 所	京都市大学のまち交流センター 4 階第 4 講義室
参加者数	約 61 名
プログラム概要	福祉関連事業者、医療関係者、ケアマネージャー等が出席する会議にて、京町家の継承に関する京都市の施策と、京都市景観・まちづくりセンターの相談窓口について説明。

## 5 公共人材育成に関する教育及び研修

### (1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学からインターンシップ履修生の受入れを実施した。

大 学	学 部 等	人数	受 入 期 間
京都女子大学	家政学部生活造形学科	2	H30. 8. 17-H30. 8. 31

### (2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受入れ、当財団の活動紹介等を行った。

平成 30 年度は、自主財源増加の取組として、有料化 (賛助会員加入) し実施した。

受入日	団体名	人数	内 容
H30. 4. 4	台湾・成功大学	4	まちづくり事業の取組について
H30. 5. 7	神戸芸術工科大学	22	京町家の保全・継承の取組について
H30. 5. 8	フランスの建築家グループ	4	京町家の保全・継承の取組について
H30. 5. 14	中標津町役場建設水道部都市住宅課	6	景観整備機構について
H30. 5. 23	函館市議会事務局	13	歴史建築の保存等の活動について
H30. 5. 29	政策研究大学院大学 国際渉外室	18	京都の歴史建築の保全・活用について
H30. 6. 12	埼玉県開智未来中学校	3	京のまちかど、施設見学

H30. 6. 13	世界銀行グループ	50	らくたび京町家、長江家視察同行
H30. 6. 18	ケルン市職員	14	センターの取り組み、施設見学
H30. 6. 22	京都造形芸術大学通信教育部	30	地域コミュニケーション研究について
H30. 7. 4	富山県上市町議会自民党議員会	9	まちづくり事業の取り組みについて
H30. 7. 12	宇都宮市議会 建設常任委員会	10	市民活動支援や建造物保全等の事業取り組みについて
H30. 7. 27	西加積地区自治会連合会	18	京都の良好な景観、コミュニティづくりの取り組みについて
H30. 8. 13	フランスの建築家グループ	4	京町家の保全・継承の取組について
H30. 9. 2	金沢大学 経済学類 藤澤ゼミ	6	京のまちかど、施設見学
H30. 9. 20	静岡県三ヶ日町 地元自治会	27	京都の「まちづくり」を町家を通して学ぶ町家再生事例見学
H30. 9. 27	島根県出雲市立第一中学校	5	京町家の形成と変遷、京都の建物建設事情等について
H30. 10. 1	横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校	50	京都の景観、観光におけるごみ問題、京都から見た鎌倉等について
H30. 10. 5	関西大学高等部	5	住民、企業、行政のパートナーシップと、地域創生について
H30. 10. 18	立命館大学 地域情報研究所	30	民間や市民との協働、まちづくりファンドや土地利用の効率化、京町家関連等について
H30. 10. 19	テグ市議会	15	まちづくり事業の取り組みについて
H30. 10. 24	立命館大学国際連携課	14	京町家、観光について
H30. 10. 26	京都市立銅駝美術工芸高等学校	5	京都の町並みと条例の影響 景観の変化と市民との協働について
H30. 11. 8	神奈川学園高等学校（1年）	41	京都の「まちづくり」を町家を通して学ぶ町家再生事例見学
H30. 11. 14	韓国慶州市 都市再生課	9	まちづくり、NPO 活動などについて
H30. 11. 14	堺市都市計画部都市景観課	3	京町家について
H30. 11. 23	田園調布学園中等部	4	京都の景観と鉄道について
H30. 11. 23	田園調布学園中等部	4	京都の建築様式について
H30. 11. 28	京都女子高等学校	70	京町家の定義と特徴、保存への取り組みと町並み保存への具体的な取り組みについて
H30. 11. 28	韓国全羅南道建築公務員	5	空き家対策について
H30. 12. 4	茗溪学園中学校	7	京都の町並みについて
H30. 12. 8	熊本市立錦ヶ丘中学校	4	町家や町並みについて
H31. 3. 14	上越市立直江津中学校	14	まちづくりの取り組みについて
合 計		523	

### (3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介等を行った。

受入日	派遣先	人数	内 容
H30. 5. 23	京都女子大学	30	学生のキャリア開発について
H30. 11. 28	京都産業大学	35	京都の景観や京町家の保全に対する 取り組みやまちセンの取り組みにつ いて
H30. 10. 19	京都女子大学	17	まちセンの事業とコーディネーター の役割について、地域まちづくりと学 生の連携について
合 計		82	

## 6 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家について、京町家なんでも相談や京町家まちづくりファンドの助成事業等と連携し、景観重要建造物への指定を推進すると共に、建物の特性や所有者の意向に応じた他の公的指定（歴史的風致形成建造物、京都を彩る建物や庭園、国登録有形文化財等）への提案も行う。

また、相談等に応じてきた京町家等について、公的指定等に向けて継続的な支援を行っている。

### 【景観重要建造物 指定済】1件



東山区

### 【歴史的風致形成建造物 指定済】4件



中京区



下京区



左京区



東山区（再掲）

【今後、指定等につながる見込みの案件】3件



中京区（歴史的風致形成建造物）



下京区（歴史的風致形成建造物）



左京区（歴史的風致形成建造物）

【指定等に向けて相談継続中の案件】4件



上京区（歴史的風致形成建造物  
国登録文化財）



上京区



上京区



下京区（歴史的風致形成建造物）

【「京都を彩る建物や庭園」に推薦して選定された案件】5件



上京区（再掲）



東山区



下京区



北区



北区

## 7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

平成 29 年度から 32 年度までのセンターの指定管理者として選定された。センターの来館者の増加、施設価値の向上を目的として、以下の取組を行う。

- ・センター利用者数 60,642 人（平成 29 年度末実績 59,272 人）

### (1) 京のまちかど展示コーナー

展示物やボランティアガイドによる京都のまちづくりの歴史や暮らしを紹介する。

ボランティアガイド 12 名とし、概ね週 3 回はボランティアが配置できる体制が整備された。これを契機として、教育機関への働き掛けや積極的な広報活動により、利用者の増加を図った。

- ・京のまちかど利用者数 29,507 人（平成 29 年度末実績 33,900 人）

＜利用者拡大に向けた取組＞

- ・関西文化の日（関西の博物館等の文化施設連携イベント）に参加

### (2) 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営している。

- ・所蔵資料数 平成 30 年度末時点 ※（）内は平成 29 年度末時点の点数。

内 訳	点 数
一般書籍	15,177 (15,249)
郷土資料	985 (1,003)
行政資料	1,228 (1,377)
視聴覚資料	313 (311)
雑誌	392 (544)
地図、絵本等	536 (555)
合計	18,631 (19,039)

- ・利用状況

内 訳	平成 30 年度末実績	平成 29 年度末実績
利用者数	22,818 人	23,061 人
利用者カード新規発行数	156 枚	164 枚
利用者カード延べ発行数	3,716 枚	3,560 枚
図書等貸出数	2,789 点	2,707 点

#### ア 巽和夫文庫の開設について

故・巽和夫氏（元京都大学名誉教授、都市住宅学会初代会長、元全国建築審査会協議会会長）の御遺族や有志による「巽和夫記念文庫プロジェクトチーム」（代表高田光雄 京都大学大学院工学研究科教授）の御協力の下、巽氏が所蔵されていた資料 2,105 冊の蔵書を当財団に寄贈いただいた。これを広く市民の皆様に活用いただくため、ひと・まち交流館図書コーナーに「巽和夫記念文庫」を設置している。

#### イ 利用者拡大に向けた取組について

- ①毎月 4 センターが交代で企画した「企画展示」を行っており、2 週間ごとに季節や時事的話題に沿った題材で「ピックアップ」展示を行っている。

②ひと・まち交流館地下1階に設置されている国宝洛中洛外図屏風（上杉本）実物大複製パネルを活用し、概ね4半期に1回、屏風に描かれた室町時代の京都の四季とそこに暮らす人々の生活風俗を紹介する催し（ギャラリートーク）を開催した。

開催日	テーマ	出席者
H30. 4. 15	「洛中洛外図屏風を歩く（上京編）」を読む	13
H30. 7. 15	「洛中洛外図屏風の下京を歩く（その1）」	18
H30. 10. 13	「洛中洛外図屏風の下京を歩く（その2）」	7
H30. 1. 26	「上杉本と舟木本 二つの国宝	22

### (3) まちづくり交流サロン

市民に広く開かれたコーナーとして打ち合わせ等ができるサロンを提供している。

### (4) まちづくり工房

リーフレット、ホームページ、フェイスブック、メールマガジン等により、地域や活動団体へ積極的に登録及び利用を呼びかけた。

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置し主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行った。

<稼働回数> 68回（平成29年度末実績 45回）

### (5) ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行っている。

<稼働回数>

ワークショップルーム1：216回（平成29年度末実績 192回）

ワークショップルーム2：196回（平成29年度末実績 195回）

ワークショップルーム3：展示施設「京町家情報コーナー」を運営

### (6) 地域まちづくり情報コーナー兼京町家情報コーナー

ワークショップルーム3において、京町家の構造などが分かる模型や京町家に関わる活動団体の情報を展示する。また、「まちづくりギャラリー」として、景観・まちづくりに取り組む団体に対し、貸しスペースを提供する。

平成29年2月24日（金）～ 「着物づくりと京町家」展（ミニチュアハウスと紙彩画）を常設展示している。

## 公2：京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

### 1 京町家まちづくりファンド改修助成

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復及び通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

平成30年度交付実績：平成29年度選定の繰越分	3件（西森邸、俵邸、高井邸）
平成30年度選定	1件（望月邸）
合計	4件

#### 【助成金交付案件】

#### 平成29年度選定 西森邸（中京区）

##### 助成対象工事

- ・外壁・外部建具の改修

##### 活用の概要

- ・住居兼ギャラリー

本二階建て切妻平入り、腰壁石張りの町家。鉄製シャッターを木製建具に改修。主屋の奥に中庭をはさみ元染色工房の離れを持つ。神泉苑に近く、門前町にふさわしい外観にすることを望まれ、ミセノマ土間を染物のギャラリーとして公開するよう整理していく予定である。（平成30年7月6日完了）



改修前



改修後

## 平成 29 年度選定 俵邸（下京区）

### 助成対象工事

- ・外壁・外部建具の改修

### 活用の概要

- ・住居兼店舗

本二階建て切妻平入り。元は豆腐店で、開口部のアルミサッシを腰壁・木製建具に改修。通り庇を修復。主屋の奥に中庭をはさみ離れを持つ。外観は当初の姿をふまえつつ、構造体力壁として袖壁を付け加えた。昭和初期の町家によく見られる腰壁の意匠とした。

ミセノマは地域に開き活用していく予定である。（平成 30 年 8 月 22 日完了）



改修前



改修後

## 平成 29 年度選定 高井邸（上京区）

### 助成対象工事

- ・屋根・外壁・外部建具の改修

### 活用の概要

- ・住居

本二階建て切妻平入り。オモテの大壁平格子・木製建具に改修。通り庇を修復。主屋の奥に中庭をはさみ離れを持つ。外観は当初の姿をふまえ復元し、既存の部材を残して修復した。（平成 31 年 2 月 26 日完了）



改修前



改修後

## 平成 30 年度選定 望月邸（下京区）

### 助成対象工事

- ・大屋根の改修

### 活用の概要

- ・住居

木造本二階建て、切妻平入り。主屋大屋根の葺き替え改修が行われた。（平成 31 年 3 月 26 日完了）



改修前



改修後

## 2 京町家再生プロジェクト（再掲）

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

平成 30 年度は、第 3 期京町家再生プロジェクトとして四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。平成 30 年 7 月の祇園祭では広く市民に公開された。加えて、京町家再生プロジェクトとしてワールド・モニュメント財団から支援を受けた京町家の活用に引き続き協力を行うとともに、本事業について、ホームページ等で国内外へ広く情報発信した。平成 30 年 9 月、2018 年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞を四条町大船鉾会所の改修プロジェクトが受賞した。

（参考）

- 京町家再生プロジェクト 第 1 期 釜座町町家（平成 23 年度）  
第 2 期 旧村西家住宅（平成 24 年度）  
第 3 期 四条町大船鉾会所（平成 28～30 年度）

〈第 3 期プロジェクト スケジュール〉

- H30.5 2018 年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞への申請  
H30.9 2018 年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞受賞  
H31.1 2018 年ベスト・イン・ヘリテイジ（国際会議、クロアチア）発表者に選定・招待

## 収益事業

### 京町家まちづくりクラウドファンディング活用支援事業

広く国内外からの投資を募り、民間からの資金を導入することにより、幅広い担い手による京町家の保全・再生・活用を行い、もって京都固有のくらしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承、発展と、まちなみ景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的とし、クラウドファンディングを利用した京町家の改修を支援する。

#### (1) 活用事業者の選定及び支援

京町家を改修、活用して事業を実施しようとする活用事業者を選定し、クラウドファンディングの仕組みを利用し、京町家の改修費用を調達する際に、資金面での支援を行う。

平成 30 年 9 月から第 4 回の支援事業者の募集を開始した。金融機関や京町家関連事業者等への個別の働きかけなど、応募に向けた取組を進めたものの、申込みがなかった。

#### (2) 京町家まちづくりクラウドファンディング委員会運営

公正かつ効果的なファンドの管理及び運営を行うため設置した京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を運営する。指定事業者及び活用事業者の選定について審議を行う。

平成 30 年度は申込がなかったため、京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を開催していない。

## 法人運営

### 1 理事会・評議員会

理事会、評議員会等を下表のとおり開催した。

#### 【理事会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 24 回	H30. 6. 4	平成 29 年度事業報告及び決算について 評議員会への理事候補者名簿の提出について 20 周年事業の事業結果について
第 25 回 (書面理事会)	H30. 12. 17	平成 30 年度補正予算について 第 14 回評議員会の開催について
第 26 回	H31. 3. 20	平成 31 年度事業計画及び収支予算について 平成 31 年度資金運用計画について

#### 【評議員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 13 回	H30. 6. 21	平成 29 年度事業報告及び決算について 理事の選任について 20 周年事業の事業結果について
第 14 回	H31. 3. 27	平成 31 年度事業計画及び収支予算について 平成 31 年度資金運用計画について

## 2 賛助会員管理

賛助会員の拡大を目指し、当財団の事業活動を通じ積極的な呼び掛けを行うほか、団体会員の増加のため企業訪問等を行った。

また、平成 28 年から賛助会費が所得税の税額控除（従前は所得控除）対象となり、会員のメリットが高まったことから、これを積極的に P R し、新たな新規会員の拡大に努めた。

<入会状況> 平成 30 年度末 ※（）内は平成 29 年度末の実績。

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	178 人（248 人）	1,100,000 円（1,570,000 円）
団体会員	23 団体（23 団体）	1,200,000 円（1,300,000 円）
		2,300,000 円（2,870,000 円）

【参考】（年間会費）個人（1 口） 5,000 円  
団体（1 口） 50,000 円

## 3 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、業務研修、新規採用職員研修等の研修を行った。

開催日	研修名	講師
H30. 4. 2-4. 3	新任職員研修	当財団職員
H30. 4. 10	京町家事業について	当財団職員
H30. 5. 28	らくなん進都のまちづくり、ターミナルにおける防災対策推進事業、都市づくり担当ラインの業務、京都市の空き家対策について、密集市街地・細街路対策事業について、京町家保全継承	まち再生・創造推進室 小林補佐（らくなん担当） 寺谷課長（都市づくり担当） 矢田部課長（空き家担当） 足立課長（密集市街地担当） 関岡課長（京町家保全継承担当）

まちづくりコーディネーターに業務関連資格の所得奨励制度を実施し宅地建物取引士試験 1 名合格

## 4 その他

環境改善の取組として、K E S（環境マネジメントシステム）ステップ 1 を推進した。

<取組内容>

環境改善項目	
省エネルギー化	電力使用量 1%削減 (平成 28 年度基準)
省資源化	事務用紙使用量削減
啓発活動	建物周辺の清掃 (毎月 1 回 4 人以上の参加)
省エネルギー化	京町家カルテ作成 37 件 京町家プロフィール作成 71 件